

## 創立70周年を迎えて

コロナ禍の2020年、日本乳業技術協会はおかげさまで創立70周年を迎えることができました。ご指導、ご支援いただきました多くのみなさま、ご利用、業務依頼等をいただきましたお客さまに心からの感謝を申し上げます。

また、特別なお忙しさの中で、「乳業技術」70周年記念号の企画・編集にご尽力くださいました編集委員長をはじめとする編集委員のみなさま、ご執筆いただきました先生方に深謝いたします。

前身である乳製品の試験室が設立されたのは100年以上前。乳・乳製品にこだわった試験検査機関として積み重ねられた技術、経験の上に、70年前の1950年、「国産乳製品その他乳幼児補助栄養品及び治療食餌の品質の改善、技術の向上を図り、もって国民栄養特に乳幼児栄養の向上に資する」ことを目的とする財団法人として農林省の認可を受けました。1981年に厚生省のご指導により「食品衛生の向上に寄与する」ことを、さらに2004年に農林水産省のご指導により「酪農及び乳業の振興に寄与する」ことを目的に追加、2013年に公益財団法人として内閣府の認可を受けて、酪農乳業界みなさまのための公的試験検査機関となりました。

当協会のこれまでのあゆみを簡単にまとめてみましたら、酪農乳業界のその時々のできごとや課題などに対応して試験検査機関としての役割を果たしてきた歴史を振り返ることができました。現在の当協会の活動のいくつかを「乳技協だより」にご紹介させていただきましたが、酪農乳業の振興に様々な形で寄与できるよう努めております。

日本乳業技術協会は、創立70周年を機に、引き継がれ培われてきた技術やノウハウを最大限に活かし、これからも変わっていく酪農乳業界のためにお役に立ち続けられますよう、「乳技協があってよかった!」と感じ続けていただけますよう、役割の果たし方を全員でよく考えながら、活動を続けてまいります。どうか、忌憚のないご指摘、ご要望を、また、暖かいご指導、お力添えを、引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 日本乳業技術協会  
代表理事 栗本まさ子

